

おたり



議会だより

142

2026 | A p r i l

Photo: 小池洋輔

特集

『議員として』活動を振り返る！

『公共交通を考える！』

『村民利用か？外貨を稼ぐか？サンテンインおたりの経営』



4年間の任期が間もなく終了します！

皆様のご協力ありがとうございました！



発行：小谷村議会 編集 議会広報委員会
〒399-9494 長野県北安曇郡小谷村 TEL 0261-82-2001 FAX 0261-82-2232
印刷：株式会社プラルト



令和8年度 小谷村はこうなる！ 中村村政 予算のポイント

693万円

消防団活動服配備

消防団員に活動作業服を配備します。

今年の事業はこれだ！

640万円

小学校給食費負担軽減

小学校給食負担金を軽減します。

6,750万円

し尿等投入施設整備負担金

し尿処理施設を建設します。

2,500万円

民間賃貸住宅建設補助

賃貸住宅建設に対して補助します。

385万円

観光地経営ビジョン策定

将来の観光見据え戦略を作成します。

1,500万円

特産品プロデュース

小谷村の特産品を開発します。

3,713万円

グリーンパーク建設負担金

廃棄物処分場を建設します。

小谷村政ここに期待！



前へ進まない！

郷津富美さん（姫川温泉）

最近、村全体が停滞している気がします。仕事柄、多くの方と話す機会があるのですが聞かされてくるのは、「**将来の小谷村が不安**」との声。転出、高齢化なども多いですが、とにかく村に元気がないと**思います。このままでいいのか？**と感じます。この小谷村が大好きだから、何もしないのではなく、前へ進んでほしい。

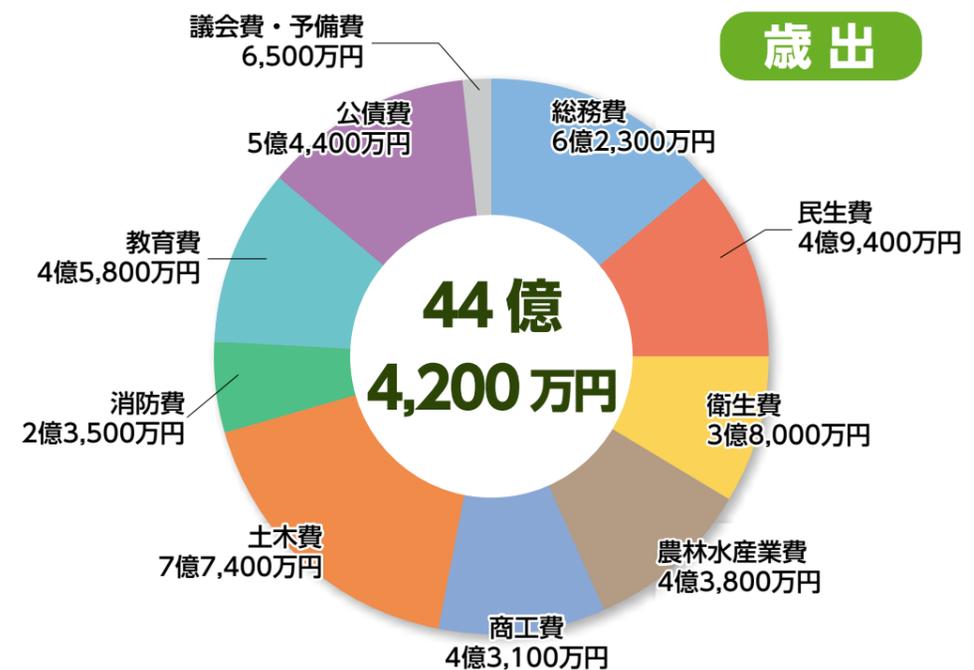


活用すべき塩の道

今井光義さん（下里瀬）

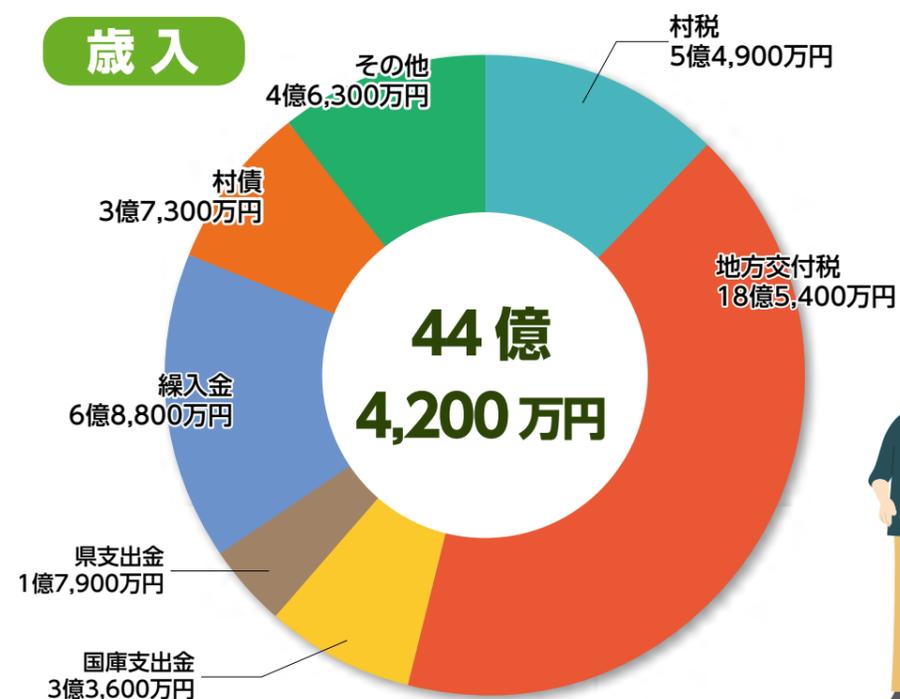
塩の道や山歩きに興味をもち、塩の道ガイドも勉強中です。小谷の素晴らしい里山を満喫し、文化・歴史にも触れられる**塩の道**を守って、活用してもらいたい。**小谷のシンボル**として貴重な資源です！今後もこの塩の道を守っていくためには、積極的な活用と村民の理解も必要です。すでに小谷ブランドであると思えます。

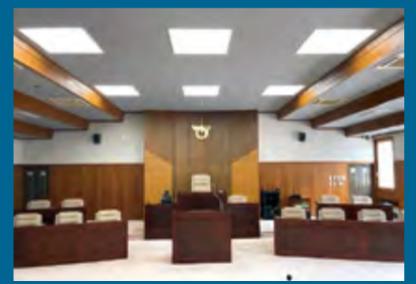
一般会計 44億4,200万円



令和8年度の一般会計予算は44億4,200万円です。前年度比700万円の減となりました。税収や応援寄付金など自主財源の確保が厳しい状況が続いています。また、生活に直結するゴミ、し尿処理施設建設の負担金や、職員給与増による人件費の増加が支出全体を押し上げています。

歳入 (Income)





議員活動を振り返る！

～4年間の政策提言～



令和8年5月4日をもって、現議員の任期が満了となります。
議員としての4年間、どんな政策を訴えてきたのか？
また住民の意見を聞きながら、提言してきたことは？
そして今後の村の将来など、議員の個々の意見を伺いました。



住民の思いを！	地域との対話！	小谷モデル！	議員名	議員の提言は？	住民との関わりは？	将来の政策は？	
 あいざわ みのる 議員 相澤 稔	 しみずひでお 議員 清水秀雄	 しばたゆうぞう 議員 柴田友造		子育て環境！  たはら ともみ 議員 田原富美子	経済活性化！  よこざわ たくみ 議員 横澤 匠	議員名 政策の提言は？ 住民との関わりは？ 将来の政策は？	
<p>村長や村が掲げて実現しようとするビジョンや政策が、村民のために真に必要で役立つか、そのための事業計画や予算が適正に計画、立案されているかなど判断してきた。</p>	<p>森林環境譲与税を活用して積極的な里山の緩衝帯整備を提案。有害鳥獣対策にも効果があり、農業への影響も多大である。 また、移住定住促進に向け、地域の受け入れ態勢や住宅整備の必要性も提言してきた。</p>	<p>村道草刈活動報奨金、受益者負担率の軽減、登録有形文化財など歴史ある建物に対する支援を提案。特に将来を見据えた政策として今ある資源を活用する「小谷モデル」創出と実現する組織の「地域公社」による活動を提言した。</p>		<p>地域での話し合うことで、里山整備や地区のルール作り（規約制定）を実施した。地区の環境の向上、そして移住者の受け入れの支援を地域住民との協議で実践。地域と対話し行動へ移すことが必要不可欠。</p>	<p>地域づくりに必要な政策提案や将来の方針を、あらゆる角度で提言してきたのだが、村との考えの相違、予算の課題など提言実行に難しさを感じた。個人的には、シルバー人材センター活動などを行い、自ら現場を体験した上で、課題など精査しながら提言する必要性も感じた。</p>	<p>地域の経済効果を上げるため、多様な観光振興支援を提言。観光業で事業者が稼ぐことができる事業、新規事業者の受入れ支援対策、訪日外国人客の増加に伴う治安や環境の変化の不安を取り除くための対策強化の提言について意見してきた。</p>	<p>地区の会議や会合、作業等で住民の話を聞く、また個別の連絡がきて直接お宅に伺う。 商工会の理事でもあり、経済団体からの意見や課題等も伺う機会もあり、多くの方と広く関わってきた。</p>
<p>地元、同世代の人達、趣味の仲間との交流や会話の中に村の現在や未来、問題や悩み、アイデアやヒントなど数多くあった。しかし、顔見知りでない方との係わりは足りなかったと反省している。</p>	<p>人口減少により今後の税収増加が見込めない。「ふるさと納税」も視野に財源確保と地域資源等を活用した新たなモノづくりの取り組みが必要。情報収集から取り組みを起こし、村民益につながる政策が必要である。</p>	<p>里山整備はこれから特に必要。これらは地域と行政が一体となって進める政策。 里山維持は村の再生の切り札である。人口減少、少子化対策など課題は多いが、住民との意見交換により事業が進むと考える。</p>		<p>イベントや集会などでは、様々な年代の方と会話をすることで、要望や困りごとなどを聞いてきた。何とかしなきゃと思う。また、子育て世代との対話する機会も多く、前向きな村づくりの将来に向けて、希望を話してくれてとても参考になる。</p>	<p>安心して暮らしていくには、交通手段の確保、医療や介護の不安を少しでも取り除くことが必要。暮らしを守るための議論と決断をして、その取り組みを一歩ずつ進めていく。さらに子育て環境の充実、女性の意見の反映は村の発展には欠かせない。</p>	<p>観光振興の発展には、個々の事業者がしっかりと稼げる必要がある。それには、事業者支援施策は必要。事業継承も含め特に個人事業者を守ることを第一に考える。インバウンド対応としてマナー条例の設置を早急にすべき。</p>	



議員定数・報酬は今後も議論

前向きな取組！



みやざわまさひろ 議員

充実した福祉！



そねはらけいこ 議員

議員名



姉妹都市議員との交流



一般質問のYouTube 配信開始



長野県議会へ豪雪対策の要望

子どもたちのため、この村が生き残るために積極的な取り組みを提言。付加価値のある事業や物を創り出す必要性など、未来のために投資する事業の実施の必要性を意見してきた。これからも、小谷村で安心して生活できることを念頭に前向きな政策の実現を要望した。

教育環境の充実と学校給食への支援・子どもの医療費の無償化・保育充実。また、観光・食と農を中心に経済と生活の基盤強化と食糧自給率向上に向けた農業支援など提案。高齢者・障がい者が安心して暮らせる福祉社会の充実の必要性は特に強調してきた。

地域の会合のほか、議長としてのあらゆる行事等へ出席する都合、多くの方から意見・助言など頂いてきた。村内外多くの方と関わりにより、村の政策の重要性を感じている。関係者の要望を実現できるための更なる要請実行を実施。

住民との「小さな集会」を重ねることで政策提案の手掛かりとなる意見を聞く。「困りごと生活相談」では、公的機関を案内をしたり、申請に同行したりなど、制度利用の手助けの支援活動も実践した。

若い人達が政策などに参加できる環境がまず必要。議員のなり手も同様。まずは村の財政状況を見極め、無駄を省き、必要なことを実施する。地域の現状を把握し、必要とすべき事業への優先的投資を考えねば。

「すべての人へ情報を」村政に関心がないのではなく、情報を得られない村民が多い。議員は、村民へ情報を伝える工夫が必要。また、働き盛りの方々が村政や政策に参画していく環境づくりをすべき。

政策の提言は？

住民との関わりは？

将来の政策は？

観光地の道路！



よしざわ まなぶ 議員

重要な交通！



よしおかひろと 議員

議員の資質向上！



ふかさわひでき 議員

議員名

村の経済の中心は観光、しかし観光地への道路事情は良いと言えない。国や県に対して、「観光地の道路」の必要性を提言してきた。村だけでは進まない事業であることから、国や県と協力しながら進めていくことを提言。関係者の熱意も含め、整備の実施を求めた。

大系線について、他地域の事例や、現在の課題をどう解決するか、様々な視点で意見してきた。特に乗車率増加のため、多くの取り組みへも参加し、応援もしてきた。公共交通全般においては、もっと広い視野と他地域との連携の必要性を意見。

主としてアセット訴訟や清算問題、給付金配布における公平性、農業機械購入を含む農業支援策について提言。ふるさと寄附金等の支出の妥当性や、おたりつぐらの事業については、運営や建設規模・費用など適正面において検証を求めた。

道路整備は周辺住民だけでなく村の将来を考える必要もあり、広く議論するべき。特に整備を望む関係者には、必要性や課題、事業効果など細かな意見を聞いている。村にとって効果をもたらすことも考慮し多く関係者との意見調整に関わった。

大系線活性化の取組では、鉄道周辺の景観整備（伐採）に地域と協力。小谷村のシンボルである大系線を守ろうという意識の強さを感じている。国の動きや他路線の状況も調査するとともに、住民の意見を聞いてきた。

地元で開催される会議には出席し、議会活動の報告および質疑対応を行ってきた。また、農業関係会議などでは、議題に基づく意見交換を通じて、村民の声を把握することに努めた。

村の経済活性化は欠かせない。農林業、建設業、観光業いずれも重要な産業である。村の産業が循環し、村民の生活向上ができる政策が必要。道路1本の経済効果、特産品開発からの産業振興など、多方面において、経済循環を導ける政策を考える。

大系線含む公共交通の課題について早急に議論が必要。住民・児童生徒、高齢者が利用しやすい交通体系をどのように確立するかが今後の目標である。専門家など交え、小谷村らしいやり方を探る必要がある。

年金生活者への支援施策の充実を求めたい。高齢者が安心して生活できることが大事。また、議員の資質向上が不可欠。慣例にとらわれず、理念と責任を持つ議員が、政策を実施することを期待する。

政策の提言は？

住民との関わりは？

将来の政策は？

番号	件名	審議結果
議案第19号	小谷村杳掛古民家施設の指定管理者の指定について	可決
議案第20号	大網農山村体験交流施設の指定管理者の指定について	可決
議案第21号	柵池ゴールハウスの指定管理者の指定について	可決
議案第22号	小谷村過疎地域持続的発展計画の策定について	可決
議案第23号	小谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決
議案第24号	小谷村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決

行政と議会との協議の中ででたワードを紹介します！

ワード	内容
自主財源	地方自治体が自ら調達できる財源のこと。住民税、固定資産税など地方税、財産などの使用料、手数料など。この比率が高いと安定した財政運営が可能となる。
地域通貨	特定の地域やエリアのみ利用できる独自のお金。小谷村では商品券配布事業など。地域内で消費促進や経済循環を促す目的で実施。デジタル地域通貨では、白馬小谷両村で「アルプスpay」を運用中。
子ども・子育て支援金制度	2026年4月から、少子化対策の財源として、健康保険料に上乗せして徴収される制度。健康保険（協会けんぽ、共済組合、国保など）の加入者に負担を求めるもの。小谷村国保税の改正が3月議会にて議決されています。
ライドシェア	一般ドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶサービス。タクシー不足の地域や時間帯に、自家用車で有料送迎が可能。白タクとは異なり、タクシー会社の管理により運行可能な制度。
地域公社	地域の課題解決や経済の活性化を目的とする事業者。行政と民間で連携し、迅速かつ柔軟な対応ができる事業者として設立させるケースが多い。稼働事業、地域のための事業など地域の特徴を活かし、また課題を解決する取り組みを期待する組織。
緩衝帯	野生動物の生息地と集落など人間の生活圏の間に設けられる見通しの良い区域（森林など）。この区域を刈り払いや整備することで野生動物の隠れ場所をなくすことで侵入などを防ぐ効果がある。

3月定例会承認・議決結果

番号	件名	審議結果
議案第2号	令和7年度小谷村一般会計補正予算（第11号）	可決
議案第3号	令和7年度小谷村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第4号	令和7年度小谷村簡易水道事業会計補正予算（第4号）	可決
議案第5号	小谷村課設置条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第6号	小谷村一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第7号	小谷村の議会議員及び小谷村長の選挙における選挙活動の公的負担に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第8号	小谷村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可決
議案第9号	小谷村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	可決
議案第10号	小谷村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第11号	小谷村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第12号	小谷村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第13号	令和8年度小谷村一般会計予算	可決
議案第14号	令和8年度小谷村国民健康保険特別会計予算	可決
議案第15号	令和8年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計予算	可決
議案第16号	令和8年度小谷村後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第17号	令和8年度小谷村簡易水道事業会計予算	可決
議案第18号	令和8年度小谷村下水道事業会計予算	可決

動画はこちらから



60年の幕を閉じた 柵池ノルディック大会



問 前山ジャンプ台の今後の取り扱いはどうするのか。
答 教育長 大会は終了したが、今後も選手育成の面からも練習場所は必要。県内でスモールヒルは北信地区と柵池のみである。関係者で協議し広域的に考え可能な限り使用させていきたい。

問 飛型審判台の設置者は。
答 教育長 村で設置したものである。不要であれば撤去したい。

問 大会に使用した大量の備品はどうするのか。
答 教育長 不要になったものは順次処分していきたい。

問 クロスカントリーコースについて雪不足など様々な影響や課題があると聞か、今後のコースの運営は。
答 教育長 地元の子もたちの練習環境は必要。田んぼや原野のコースで制約はあるが練習コースとしては問題ない。積雪が少なくても利用できるような練習コースを模索するが、圧雪車



最後となった柵池ノルディック大会

によるコース整備、休憩場所や駐車スペースが必要。応分の経費は必要で総合的に考えていく。地元や関係の方々との相談させていただき検討したい。

問 県道千国北城線が延伸される構想があるが代替えコースの妙案はあるのか。
答 教育長 延伸が決まれば、コース変更等を模索する。地元との協議が必要と考える。

問 圧雪車両の維持経費が高騰している。圧雪車は売却となるのか。
答 教育長 村が所有しない管理体制を考える。

動画はこちらから



物価高騰対策とふるさと納税 デジタル活用の課題！



問 物価高対策として村民一人あたり3万円の商品券配布の実施時期は。
答 教育長 商品券の利用期間を長く確保する考えから、次年度へ繰り越して実施する。

問 利用期間はいつになるのか。
答 教育長 利用期間については現在検討中であるが、早期の実施を行いたい。

問 年金生活者などへは支援増額をすべきと思うが。
答 総務課長 子育て世代への支援はあるが、年金世帯への支援について、現段階では考えてはいない。

問 アルプス пейポイント事業において、今までの実績は。
答 教育長 アプリ登録における2千円分のポイント付与の実績は村民で196人。

問 アルプス ペイを使用できる村内店舗の登録実績は。
答 教育長 現在、35店



浸透されていないアルプス пей地域通貨

舗が登録されており、利用実績は2月末時点で56,995円である。

問 地域経済循環としてデジタル地域通貨システムを導入し、旅行者に対する「旅マエ・旅ナカふるさと納税」事業の成果は。
答 教育長 3千万円の寄付を目標としたが、2月末時点で16万円の寄付であった。目標に対しては、0・53%である。

問 今後、デジタルポイント付与事業の継続の方向性は。
答 総務課長 問題点があれば検討していく。

動画はこちらから



小谷村の新年度の予算 村民の『くらし』を優先する施策を！



問 物価の高騰が著しい中、村民のくらしを応援する必要がある。財政調整基金を活用し生活の支援を行うことは。
答 教育長 村民の生活費負担軽減を目的とする事業は当初予算にはない。財政調整基金は、財源が不足するときに活用するものである。

問 来年度から国民健康保険税率が見直される。国保の被保険者は他の保険と比較しても負担が重い。引き下げをすべきだが。
答 教育長 今年度から、国の方針で「子育て支援金」が国保税に加算される。よって保険税が引き上げになる。

問 この4月から、国が小学校の給食費支援を実施する。村の独自支援で、中学校においても給食費支援することは。
答 教育長 給食費無償化は、村長公約である。5月以降、新たな議会体制となった後、給食費の無償化を提案したい。



通学での利用には欠かせない村営バス

問 村民の生活に直結する公共交通について、バス事業の課題は。
答 教育長 村営バスは通学とJRとの接続を考慮して運行している。すべてを満たすには、バスの増便、多様な運行経費が必要である。

問 交通に対するシニアクラブからのアンケート結果からどう考えるか。
答 教育長 今年度には「地域交通計画」を策定する。これまでの意見を参考に、より良い公共交通を目指す。

動画はこちらから



今後の小谷の景観を維持するために！ 農地を活用するには！



問 保育園、学校給食への地元食材の利用について、促進させていく取組計画や構想は。
答 教育長 地域食材の学校給食への活用を進めるため、学校給食に関わる関係者間の連携強化や相互理解を深める体制づくりが指導されている。コーディネーター的な存在が有効ともされているが、村では配置や専門組織などの設置を行う予定はないが、対応は考えたい。

問 農村生活マイスターを中心に給食での素材提供に努めているが、量や種類が限られる。保存可能な根菜類について、保管倉庫があれば長期で給食利用でできるか。
答 教育課長 倉庫での保管は考えていない。施設内で保管できる場所を模索したい。

問 給食の地元食材を多くの農家さんが提供できれば、新鮮で安全な野菜を食べてもらいたいと思うが。



大豆の活用は推奨すべき！（浸した大豆）

問 地元農家に対して発注、納品など調整する人材として集落支援員を配置することは。
答 観光地域振興課長 協力可能と考える。

問 大豆の生産について、有機農業で行うことを推奨すべきだが、乾燥機や選別機、また種子購入の補助の支援について考えているか。
答 観光地域振興課長 現在支援はない。村が直ちに整備するなどできないが、農協とも相談していく。

動画はこちらから



集落維持をするために！ 「新しい地域コミュニティ」が不可欠



柴田 友造 議員

閭人口減少、集落活動衰退の問題について、集落と集落の垣根を越えた新しいコミュニティづくりが必要。足掛かりとして村が主導で対話する場を設けられないか。

閭村長 村主導ではなく地域で進めることが大切。地域から声をあげることが必要。閭かつては地域に協力隊を配置するなど行政が地域に機会を与えたこともあるが。

閭村長 行政が主体となつて実施してきた経過も理解する。

閭雨中地区の活性化に向けた施策について指示したとの説明。他の地域の活性化についても考えるべきでないか。

閭村長 雨中地区に限ってではない。また、南小谷駅前の課題と今後拠点となる施設の必要性についても、地域の自主的活動が必要と考えている。

閭地域の活性化には移住定住施策も重要である。しか



地元の自主的活動を期待する駅周辺の活性化

し、住みたいけど住宅が無い状況の解決策は。

閭村長 新たな村営住宅の建設は慎重に判断すべき。しかし、住環境整備を進めることは重要。民間賃貸住宅建築補助金利用など事業者に期待している。

閭教育も村の重要なポイントである。特色ある教育環境として、他の地域とは差別でき、村をアピールできる取り組みは。

閭教育長 中学2年生が実施する台湾交流事業は、今後の世界観が大きく広がっている。

動画はこちらから



秩序ある開発と自然保護！ 質が高く競争力の強い観光地を目指す！



あいざわ みのる 議員

閭副村長は間もなく就任一年を迎えるが、小谷村の印象や魅力をどう感じているか。どんな課題があると考えているか。

閭副村長 豪雪地域や利便性の面でややハンデがあると感じていたが、多くの村民が自然や文化に誇りをもって暮らしている印象である。少し先を見て取り組むべき課題として、土地利用のコントロールと地域資源の活用が考えられる。早いうちから土地利用のルールを整え、秩序ある開発を誘導して、質が高く国際競争力の強い観光地を目指す必要性を感じている。また、自然環境を利用したエネルギー開発事業も支援していきたい。

閭地域資源の開発は、自然環境の保護、破壊などの懸念があるが。

閭副村長 生態系への配慮は必要である。エネルギー開発には期待はしつつも、環境を維持する必要がある。



グリーン期の観光誘客！新たな戦略を！

閭小谷村の観光はウィンターシーズンの入込みによるものが大きなウエートを占めているが、グリーンシーズンの誘客をどう図るかが重要である。滞在型、周遊型の観光への取組みが必要と思うが。

閭村長 グリーンシーズンの誘客についても観光連盟で議論がなされ、各事業者や団体が丸となったの取組みが始まっている。それぞれの事業者が個々で取り組むのではなく、線でつなぎ、面に対応するなど新たな戦略を描いている。

動画はこちらから



インバウンド観光需要の増加！ 多国籍外国人の受け入れ環境を！



よこさわ たくみ 議員

閭インバウンド観光の増加に伴う受け入れ面の課題は。

閭村長 様々な外国人が訪問することから食を含めた文化、宗教の違いによる苦労などを認識をしている。観光連盟と連携し「受入れの多様性」にかかる課題に対する取り組みを支援、実施していく。

閭二次交通について、白馬駅からの接続が不便である。白馬駅への運行をしない理由は。

閭観光地域振興課長 村で運行しているのはナイトバスなので鉄道の接続については考えていない。混雑する白馬駅では、バスの乗り入れ制限もある。

閭デジタルを活用した観光施策の取組状況は。

閭村長 観光連盟では新たにインフルエンサーを起用して、さまざまな客層に対して村内を周遊してもらえよう魅力発信をする。

閭訪日外国人客が増加する事で、治安悪化の懸念、ま



今シーズンも多くのインバウンド客で賑わうスキー場

た交通障害等の問題が増加している。住民が安全安心して暮らせる対策、マナー条例の制定が必要だと思ふが。

閭観光地域振興課長 様々な課題があることは承知している。近隣自治体の状況を考慮して検討していく。

閭次年度から宿泊税が導入される。税は観光振興に活用できるが活用検討会議などの設置と宿泊事業者の参加については。

閭観光地域振興課長 現段階では、会議の設置は考えていない。

動画はこちらから



中村村政7年間をどう評価するか？ 村の振興、産業の活性化など村づくりの成果



みやざわ まさひろ 議員

閭村長就任から7年、宣言した事業の成果は。

閭村長 公約を中心に、全てにおいて成果はついてきていると考えている。評価は、村民がすることである。

閭公約や施政方針から「おたりつぐら」の運営について、課題が多々あると思うが、運営における検討会の設置は。

閭村長 検討会の設置を含めて検討しているところである。

閭「あせ道村政」との公約であったが成果は。

閭村長 各地へ出向いて話をうかがった。成果はなつたかについては、わからない。

閭施政方針の農福連携の推進について、現在の状況は。

閭村長 引き続き進める。

閭東山の観光整備「東山眺望めぐり」との政策については、どこの課が担当なのか。

閭村長 観光地域振興課



役場庁舎から見える東山方面 今後の観光の展望は！

が担当である。

閭遊休農地と小谷ブランドの創出とはどのようなことか。

閭村長 現在、クレソンの栽培は休止しているが、黒ニンニク加工など進んでいる。また、遊休農地解消には女性の力を活用したい。

閭7年間の、村長自身の採点は。

閭村長 100点と言いたいが、村民が決めること、自分では評価しない。

公共交通を考える！

利用者からの意見で浮かび上がる問題！

小谷村公共交通の現状から見える弱点は何か！

村営バスとスクールバスが併用されている小谷村。

児童生徒の通学としてスクール専用バスを運行している自治体は多くあります。しかし、小谷村は、スクールバスを運行していません。「スクール便を出して！」と保護者の意見も聞かれます。

理由は、「JR利用者」に対する配慮です。鉄道を利用している高校生と小中学校の登下校を併用しているからです。村営バスが運行された平成16年から20年、小中高校生と通学時刻を調整し運行しています。

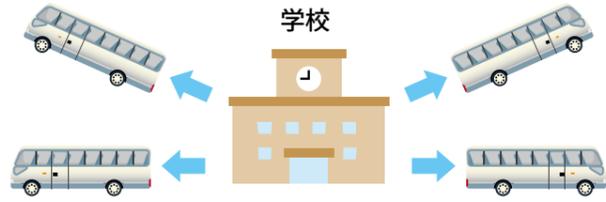
近年、児童生徒の減少により村営バス、JRの利用者数が激減している状況は言うまでもありません。



平成15年から運行している村営バス 小中高校生の足

一筆書きできない路線 集中する登下校時間

小谷村の地形もバス時刻に影響を与えています。現在、大型バス3台、小型バス3台を運行している状況です。「魚の骨」のような路線であり、



各地区へ放射状に出発していく！

公共交通とは、不特定多数が利用できる交通機関であります。路線バスやタクシー、鉄道、デマンドバスなどになります。特定の目的で利用するスワールバスなど、公共交通に含まれません。村民の移動手段として村営バス、デマンドタクシーを運行している現在、利便性や課題などを考えました。

なぜ浸透しない？ 利用しない？

デマンドタクシー

小谷村社会福祉協議会で実施したアンケート結果で「デマンドタクシーを知らない」という意見がありました。「デマンドタクシーとは、決められた路線によらず運行できる乗合タクシーですが、利用したことのない方が多かつたことです。利用方法がわからないことが原因にあげられます。」

「興味はある。今後利用するようになる。」との意見もあり、住民への利用促進のためのサポートを強化する必要があります。時間など制約はありますが、上手に利用する方もいます。



デマンドタクシー 利用しやすい体制づくりがカギ

公共交通の整理が必要！ まだある交通手段！

交通体系の課題がある自治体は多くあります。近年、白地（公共交通のない地域）やタクシー不足地域などでは、ライドシェアを導入する自治体も増えていきます。民間事業者が公共交通から撤退していく時代、地域や住民組織が運営に関わるケースが増えています。公共交通、ベストな体系を考える時代がきています。

村民利用か？外貨を稼ぐか？ サンテインおたりの経営

「村民の保養のために」地域住民の福祉向上・健康増進を目的に設置されたのが「サンテインおたり」。温泉・食事・宴会など村民があらゆる目的で利用できる施設です。しかし、ニーズの変化など施設利用の形態が変わりつつある時代、そして施設の老朽化と高騰する維持費、運営の課題を考える必要があります。

地域住民の利用！

コロナ以降の変化！

かつては冠婚葬祭など、地区住民や親戚が集う機会が常でした。しかし、コロナウイルスにより生活スタイルが一変しました。「特に法事が減少、参加人数も従来の半数以下。」サンテイン

の従業員の声です。

多くの方が寄り合う機会が薄れていく時代。人口減が要因ですが、慣例・風習も変化してきています。利用人数だけでなく利用機会の減少も顕著とのことです。

施設維持に大きな負担！

経費の7割は光熱費

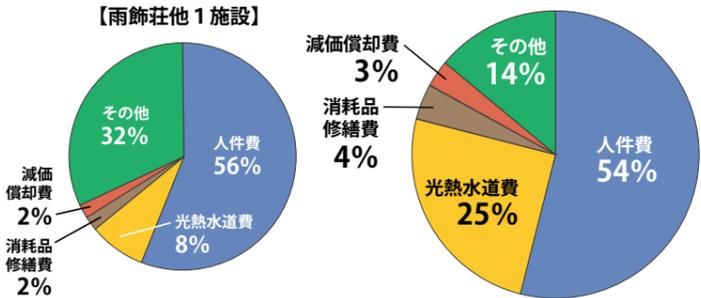
地方自治法の規定により、議会では第3セクターの経営状況の報告を受けます。報告では、サンテインの経営について、粗利が出ていません。また施設の老朽化から修繕費用が増大している状況です。

議会では、サンテインの経営について調査した中小



保養センターの位置づけのサンテイン

【サンテインおたり 経費割合】



企業診断士からご意見をいただきました。そして、「施設の維持費が課題」と指摘

されています。特に温泉施設の維持管理経費が高額であることを意見されました。

村民利用を優先か？

サンテインの経営！

サンテインは、村民などが利用する温泉と休憩・食事、そして宿泊で経営しています。

特に温泉は多くの村民が利用されています。「常連」の男性（80代）は、「ほぼ毎日入浴してくる。なくてはならない施設」とのことです。保養センターとして、村民の

ため必要な位置づけであります。しかし、中小企業診断士が経営面から見た意見は、次のとおりです。

【企業診断士の意見】

- ①施設の維持費が高額である。
- ②施設の立地条件などから売上の大幅増は見込めない。
- ③住民利用収入では採算はとれない。
- ④施設が古い。今後、施設に投資を行っても効果は見えない。

などです。

サンテインはどうすればいい？

健康福祉で利用するために設置された「サンテインおたり」。温泉だけでなく、体操など健康向上の取組や宴会など住民のコミュニティの場です。しかし、維持管理経費の増大や施設の改修が大きな課題です。

宿泊やレストランなど外貨を稼ぐことも必要です。健康福祉と観光施設が混同した施設であることは事実です。

村民がこの施設に何を望むか？もしくは、外貨を稼ぐべき施設として運営すべきなのか？考えていきましょう！



鉄道会社と

地域のタッグ

「いすみ鉄道」の取組



千葉県の内陸を走るローカル線の「いすみ鉄道」。周辺自治体が出資し運営する第三セクターです。人口減など通勤通学の利用は減少している状況ですが、菜の花による景観整備、観光列車、レストラン列車などイベント企画に力を入れています。メインの大多喜駅では、大系線を走った「キハ52」も展示されています。



大系線を走ったキハ52が展示

利用運賃だけでなく、鉄
道グッズの売上も1億円を
超えるとのこと。



大多喜駅と周辺を見学

周辺の自治体はイベントに協力し盛り上げてくれるそうです。今回立ち寄った大多喜駅周辺では、かつて城下町だった街並みの保存・整備活動を行い、街歩きを推奨しているとのこと。

地域と連携して取り組み
むことで、鉄道を盛り上げようとする意気込みを感じました。
(記 吉岡久人)

官民連携で活力を！

「自ら稼ぐ自治体」

今「稼ぐ自治体」ということばを耳にします。

ふるさと納税や地域ブランドの活用などにより独自財源を確保する自治体が増えていきます。行政が民間感覚で収益をあげ、福祉や産業振興に寄与していくものです。



実証実験中の自動運転バス

茨城県境町もその1つです。地域自ら稼ぐためにあらゆる事業をしています。拠点となる「地域公社」「道の駅」「自動運転バス」などを



アイデア盛りだくさんの商品がならぶ「道の駅さかい」

見学しました。

今回は立ち寄るのみでしたが、詳細の取り組み内容、仕掛け方などとても興味がかかります。次回は時間をかけての視察をすべきと思います。

特に、「地域公社」は民間とのマーケティング力や資本を活用し、地域産物の商品開発など多種多様な取組も行っています。

地域をよくするために、収益をあげるために、この村はどうするか、真剣に考えなければと感じます。

(記 柴田友造)

編集後記

寒さも和らぎ、桜の便りが聞かれる季節となりました。新たな年度の始まりに、希望や期待を胸にそれぞれ的一步を踏み出されていることと存じます。「議会だより」も本号で第142号を迎えました。村民の皆さまに議会の活動内容をより身近に感じていただくよう、構成や表現を工夫しながら、親しみやすい紙面づくりを心がけてまいりました。4年間、議会だよりの編集に携わる中で、取材の中から、様々な意見を頂戴したこと、地域を支えようとする思いや努力に触れる機会を得られたことは、大変貴重な経験となりました。ご協力いただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。



(広報委員 田原 富美子)